10月15日（火）

この日を一歩一歩進みながら、常にわたしのことを意識するようにしなさい。

わたしがあなたとともにいることは、約束でもあり、守りでもある。

わたしが天に昇る直前に語った最後のことばは、**「わたしはいつもあなたとともにいる」**―あの約束は、ひとつの例外もなく、わたしに従うすべての人々へのものだった。

わたしとともにいるという約束は、強力な守りとなる。

あなたがたどる人生の旅路には、そこかしこにおびただしい数の落とし穴がある。

あなたを自分の道に誘おうとして、多くの声があなたの注意をひこうとやかましく騒ぎ立てている。

本道をほんの二・三歩離れただけで、自己憐憫と絶望の穴が口を開け、高慢と我意（がい）の高原が広がっている。

もしもあなたがわたしから目を離してほかの人の道についていったら、ゆゆしい危険にさらされることになる。

たとえ善意の友人であっても、あなたの人生にわたしが占め

る場所を侵害することを許せば、あなたを迷わせかねない。
いのちの道をたどる方法は、常にわたしに心を向けていることだ。
わたしの存在を意識することが、あなたの最善の守りになるのだよ。

:-:+

【新改訳 2017】

マタイ 28:20

わたしがあなたがたに命じておいた、すべてのことを守るように教えなさい。見よ。わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたとともにいます。」

ヘブル 12:1

こういうわけで、このように多くの証人たちが、雲のように私たちを取り巻いているのですから、私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。

ヘブル 12:2

信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さない

でいなさい。この方は、ご自分の前に置かれた喜びのために、辱めをものともせずに十字架を忍び、神の御座の右に着座されたのです。